

ご挨拶

まず、大会の告知が当初の予定を1ヶ月以上遅れましたこと、お詫び申し上げます。今年の日本マインドフルネス学会第6回大会は、東京（早稲田大学）以外では初めての開催となります。会議場もこれまでとは異なるタイプですので、研修会も少人数の応用講習を設けたり、大会でも実践の割合を増やしたり、新しい試みをしております。

ここ数年は12月でしたが、今年は会場の都合により、第2回大会以来の8月開催となります。前回から8ヶ月しか経っていないのに、夏の大阪は非常に蒸し暑く、また教育機関の夏休み中の土日ということもあり、参加者の皆さまにはご不便をおかけすることも多いかと存じます。

その分、これまでは正面から取り上げなかった「**日本的なマインドフルネスとは？**」をテーマとし、日本文化という文脈や、これからの学会が進むべき方向性について、皆さまとオープンにディスカッションし、深めていく機会にしたいと願っております。奮ってのご参加をお待ちしております。

2019年7月11日
大会長 菅村玄二

<日時>

2019年8月24日（土） 研修会，大会（オープニングレクチャー，ポスター発表，情報交換会/懇親会）

2019年8月25日（日） 大会（ワークショップ，シンポジウム，ディスカッション）

<場所>

関西大学（千里山キャンパス），100周年記念会館

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35（アクセスとマップは，5ページ目参照）

<研修会・大会スケジュール> ※オープニングレクチャーの時間の内訳を変更しました（7/18）。

2019/8/24（土）研修・大会・懇親会

時間	セッション	区分	講師	定員
11:00-12:00	開場・受付			
12:00-15:00	研修 IA：基礎講習	入門編	越川 房子（早稲田大学 文学学術院） 熊野 宏昭（早稲田大学 人間科学学術院）	200
	研修 IB：応用講習	臨床領域	家接 哲次（名古屋経済大学 人間生活科学研究科）	24
	研修 IC：応用講習	教育領域	村上 祐介（桃山学院教育大学 人間教育学部）	30
14:30-15:30	受付			
15:30-15:40	オープニングレクチャー 日本文化とマインドフルネス (大会と研修2を兼ねる)	理事長挨拶	越川 房子（早稲田大学 文学学術院）	300
15:40-16:10		大会長講演	菅村 玄二（関西大学 文学部）	300
16:10-17:10		基調講演	鎌田 東二（上智大学グリーンケア研究所特任教授、 京都大学名誉教授）	300
17:10-17:30		実技	小室 弘毅（関西大学 人間健康学部）	300
17:40-18:30	ポスター発表	—	—	—
18:30-20:00	情報交換会/懇親会	—	—	—

✓ 大会は8/24(土)の15:30より開始しますが、それに先だって12:00から研修1を行います。

✓ オープニングレクチャーは大会の一部ですが、研修2も兼ね、研修1と合わせることで計5時間としてカウントされます。

2019/8/25（日）：大会・総会

時間	セクション	講師
9:30-10:00	開場・受付	
10:00-12:00	ワークショップ 息のしかた	特別講演 ・本間 生夫（東京有明医療大学学長，昭和大学名誉教授） 実技講師 ・姍起侖 沙包（呼吸指導士，マインドフルネス・クリエイター） 司会・解題 ・高瀬 弘樹（信州大学 人文学部）
13:30-15:30	シンポジウム 日本の身体文化にみる マインドフルネス	話題提供 ・アレクサンダー・ベネット（関西大学 国際部） ・小室 弘毅（関西大学 人間健康学部） ・村上 祐介（桃山学院教育大学 人間教育学部） 指定討論 ・石井 康智（早稲田大学名誉教授） ・池埜 聡（関西学院大学 人間福祉学部） 司会・解題 ・菅村 玄二（関西大学 文学部） ・越川 房子（早稲田大学 文学学術院）
15:40-16:40	オープンディスカッション 日本的なマインドフルネスと 今後の学会の方向性を考える	導入 ・池埜 聡（関西学院大学 人間福祉学部） 会員，パネリスト，役員，一般参加者を交えた，自由で開かれた議論の場となることを期待しております（by 大会長）。
16:45-17:00	総会	会員のみ参加可能

<研修会と大会の参加申込> ※大会サイト情報を追記しました（7/18）

- ◇ 大会ウェブサイト（<http://www2.kansai-u.ac.jp/psy/JAM6.html>）で，詳細な内容を更新していきます。
- ◇ 会員の方には，受付に先立って，メーリングリストでご連絡いたします。

<一般研究発表（ポスター発表）応募申込> ※大会サイト情報と受付時期を追記しました（7/18）

- ◇ 大会ウェブサイト（<http://www2.kansai-u.ac.jp/psy/JAM6.html>）から，「発表応募要領」「抄録テンプレート」「抄録チェックリスト」の一式（PDF ファイル）をダウンロードしていただけます。
- ◇ 7月18日正午から，発表申し込みの受付を開始します。

よくある質問と回答

（1号通信版）

1. 参加申込に関して

Q1. 事前に申込をせずに当日参加はできますか？

A1. 前頁に書きましたように、7月20日頃までに申込受付を開始します。大会運営側としては、事前の申込をお願いしております。今回、当日の飛び込みでの参加は割高な設定にすることを検討しておりますが、受け付ける体制を取ります。ただし、研修Ⅰには定員があり、それを満たした場合は、事前申込の方のみにご参加いただきます。その他のプログラムについては、定員を設けておりませんが、会場の都合により、飛び込みでの当日参加はお断りする場合があります。どうぞご容赦ください。

Q2. 研修会の申込が定員を超過した場合、抽選になるのでしょうか？

A2. 申込多数の場合、定員増加も検討しますが、講師もしくは会場が対応できない人数に達した時点で募集を停止いたします。申込が一度に集中し、募集を停止する前に申込数が許容数を超過した場合に限り、会員を優先したうえで抽選を行います。

Q3. 参加証や大会プログラム・抄録集などは事前に送付されますか？

A4. 今年は、当日までに大会プログラム・抄録集をPDFで配布する予定です。参加証も事前に送付はせず、当日の受付でお渡しします。郵送で受け取っていただくものはございません。

2. 発表申込に関して

Q1. ポスター発表をしたいのですが、どのように申込をしたらよいですか？

A1. 7月20日頃までに大会ウェブサイトでお知らせする「発表応募要領」をご覧ください。

3. 支払いに関して

Q1. 年会費をまだ払っていないのですが、参加費と一緒に振り込んでもよいですか？

A1. 大会事務局の口座名は「日本マインドフルネス学会」ですが、学会事務局の口座とは異なります。大会事務局では参加費の納入しか承ることができません。年会費が未払いの場合は、学会事務局（<https://mindfulness.jp.net/contact/>）にお問い合わせください。

Q2. 領収書の発行はできますか？

A2. 振込明細書や振込票などが法的にも正式な証拠書類（領収書）として使えます。どうしても大会発行の領収書が必要な場合は、研修・大会参加費の入金後に、宛名書きを明記した上で、大会事務局にメール（2019jam6@gmail.com）でお申し込みください。

Q3. 入金後でもキャンセルすれば、返金されますか？

A3. 基本的に返金いたしません。災害などやむをえない特殊な事情により、大会の一部もしくは全部が中止になった場合に限り、返金の対応を学会・大会準備委員会で検討いたします。

4. 宿泊について

Q1. ホテルはどこが便利でしょうか？

A1. 今回の会場は阪急千里線「関大前」からは5、6分程度の場所にあります。最寄りのホテルは、阪急千里線「南千里」駅の南千里クリスタルホテルになります。

大学まで電車をご利用でしたら、大阪モノレール「千里中央」駅の千里阪急ホテル、大阪モノレール「万博記念公園」駅のホテル阪急エキスポパークも比較的近くにあります。

大学までタクシーをご希望でしたら、Osaka Metro 御堂筋線「江坂」駅周辺のホテル（新大阪から1駅、大学まではタクシーで約800円）、Osaka Metro 御堂筋線/JRの新大阪駅周辺のホテル（タクシーで15分、約2500円）もあります。※タクシー料金は交通事情で大きく変わります。

大阪の中心部がよろしい場合は、阪急「梅田」駅周辺のホテル（電車で20分）をお薦めします。そのほか、阪急千里線、阪急京都線、Osaka Metro 堺筋線の沿線であれば、乗換なしか、乗換1回ほどでスムーズに大学まで来られます。

Q2. 夏休みの土日でホテルの予約が取りにくい状況ですが、どのようにしたらよいでしょうか？

A2. 一般のホテル検索サイトでは見つからなくても、H.I.S.やJTBなど大手の旅行代理店のサイトや窓口では見つかることもあります（※あくまで大会長個人の意見です。本会は責任を負いません）。

- <http://www.his-j.com/>
- <http://www.jtb.co.jp>
- <http://rurubu.travel>

また国内のサイトでは空室がなくても、海外の旅行サイトでは、空室が見つかることもあります。

- <http://jp.hotels.com>
- <http://www.agoda.com>
- <https://www.expedia.co.jp/>

5. その他について

Q1. 託児サービスは利用できますか？

A1. 本会の規模では対応が難しいのが現状ですが、一定数の希望者がいる場合は、費用の一部を大会側で負担し、手配することも検討しております。実際に対応できるかわかりませんが、ご希望の場合は、できるだけ早くご連絡ください。

Q2. 車いすやベビーカーでも会場に行けますか？

A2. 会場は高台にあり、南門と西門からは階段とエスカレーターでのアプローチになっており、バリアフリーになっておりません。「2号通信」で示す予定の詳細な会場へのアクセスマップで、お車でお越しの場合のルートをお使いください。会場内にはエレベーターがございます。

Q3. プログラムが変更になることはありますか？

A3. 講師の事情、交通事情、災害などにより、プログラムが変更になる場合があります。変更がある場合、速やかに大会ウェブサイトでお知らせいたします。

※他にご不明な点がございましたら、大会事務局までメールでお問い合わせください。

<交通アクセス>

新幹線「新大阪」駅から30分

- JR「新大阪」駅から地下鉄 Osaka Metro 御堂筋線「なかもず」行で「西中島南方」駅下車、阪急に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車。

大阪(伊丹)空港から30分

- 大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急に乗り換え「関大前」駅下車。

大阪(梅田)から20分

- 阪急「梅田」駅から、千里線「北千里」行で「関大前」駅下車。または京都「河原町」行(通勤特急を除く)で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都(河原町)から55分

- 阪急「梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

地下鉄利用

- 地下鉄 Osaka Metro 堺筋線(阪急千里線に相互乗り入れ)が阪急「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通運転。

<キャンパスマップ>



- 地図中の赤い矢印の先にある44が大会会場(100周年記念会館)です。
- 駅の「南口」から「南門」まで徒歩数秒です。駅「北口」から「西門」もご利用いただけます。
- 駅の「南口」から会場まで5分程度ですが、階段になります(エレベータはおそらく停止中)。
- 正門前にはコンビニや飲食店が並んでいます。そちらからは階段を使わずに会場に着けます。
- 迷われたら、正門近くの18番の建物の1階にある「警備員詰所」までどうぞ。



JAM JAPANESE ASSOCIATION OF
MINDFULNESS
日本マインドフルネス学会

第6回大会準備委員会（第1期）：「ボディース」

- ・ 菅村 玄二（関西大学文学部 教授）
- ・ 小室 弘毅（関西大学人間健康学部 准教授）
- ・ 村上 祐介（桃山学院教育大学人間教育学部 専任講師）
- ・ 山本 佑実（関西大学 非常勤講師）
- ・ 福市 彩乃（関西大学大学院心理学研究科 博士前期課程）
- ・ 木村 健（特定非営利活動法人ratik 代表理事）

大会についてのお問い合わせ先

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 菅村玄二研究室内

日本マインドフルネス学会第6回大会 大会事務局

Email 2019jam6@gmail.com

※ 入会など日本マインドフルネス学会についてのお問い合わせは、
学会事務局が窓口となっておりますので、
本会ホームページよりお願いいたします。